

# 価格下落時には 80%の価格補償 自主流通米に限り (加工用米含む)

**計画出荷目標数量について**  
今対策より「稲作経営安定対策」が導入され、価格下落時に補てんがうけられる仕組みが確立されました。この対策は自主流通米（加工用米含む）に限り過去3年間の平均価格と当年産の価格との差に対し80%の価格補償が受けられるものです。こういったことから、計画出荷目標数量が大きく影響してくると言えます。又、下表でもわかるとおり年々数量が減少してきています。今後、計画出荷目標数量の維持・確保に努めていきたいと考えております。

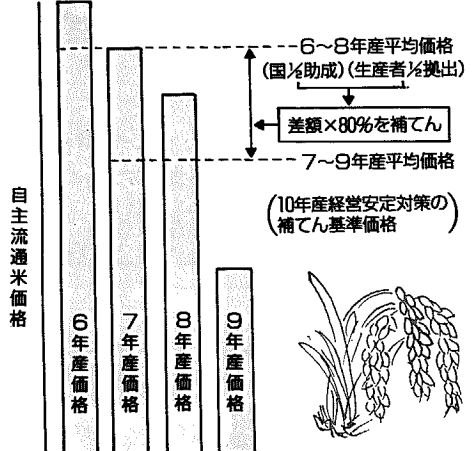
※計画出荷目標数量の配分は、各農家一律配分していませんが、こうしたことから平成11年産の配分については、過去の出荷実績を考慮し傾斜配分する方向です。

## 計画出荷目標数量の過去5カ年間の推移

区分	計画出荷目標数量	
	うるち米	もち米
6年産米実績	5,068,860 kg ( 84,481俵)	273,960 kg ( 4,566俵)
対前年比	525,540 kg	△ 88,500 kg
7年産米実績	4,770,120 kg ( 79,502俵)	188,520 kg ( 3,142俵)
対前年比	△298,740 kg	△ 85,440 kg
8年産米実績	4,146,781 kg ( 69,113俵)	133,800 kg ( 2,230俵)
対前年比	△623,340 kg	△ 54,720 kg
9年産米実績	3,433,470 kg (57,224.5俵)	117,750 kg ( 1,962.5俵)
対前年比	△713,310 kg	△ 16,050 kg
10年産米実績	3,481,500 kg ( 58,025俵)	191,340 kg ( 3,189俵)

## 〈新たな米政策確立円滑化事業について〉

### ●新たな米政策確立円滑化事業の仕組み



新たな米政策に参加し、生産調整を完全実施した生産者に平成9年産の自主米出荷数量に応じて補てん金を交付するものです。政府助成額は平均で519円/60kg生産者拠出は、行わない方向で検討されています。

## 〈転作くんのひとりごと〉

米の全国的需給バランスの確保という視点からあらためていうまでもないが、米生産が直面している問題は極めて大きい。

第1に消費の減退。これは致命的なことであり、ましてや出生率の低下に伴い食べ盛り層の増加は期待できない、第2に米を購入して消費する人は国民の全部ではないこと。これは米市場を狭くするものである。最後に、いわゆる産直などにより生産と消費が固定的関係を形成している部分が増えていることだ。これも米生産者には悪い条件である。

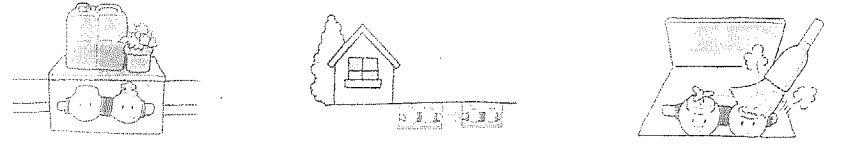
というわけで、稲作農家にはとても厳しい環境になっているといえる。今後品質向上という課題だけではなく、売れる量だけ作るという「量」のコントロールという大きな課題に取り組んでいかねばならない。また、米の世界も今後のあり方について一歩先を読んで対策を講ずる必要がある中で、ここは、一番、行政・農業者団体・生産者がスクラムを組んで賢明な対応をしようではないか…

“担い手にとって魅力ある農業経営スタイルの実現を期待している。”

〈今月のテーマ「大きな誤解。」〉

## 水道メーターの検針にご協力ください!!

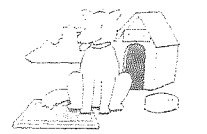
- 水の使用量 正確にメーターに記録されず。検針には、地域ごとに基準日をきめて検針員がおうかがいし、使用水量をお知らせします。なお、使用水量について不明の点がありましたら、企業課へお問い合わせください。
- メーターボックスの上には、物をおかないようにしてください。
- 家の増改築などで、水道メーターが屋内や床下になる場合は、検針しやすい場所へ移してください。
- メーターボックスの中に水や泥が入らないように、いつもきれいにしておきましょう。



## こんな時は企業課へ

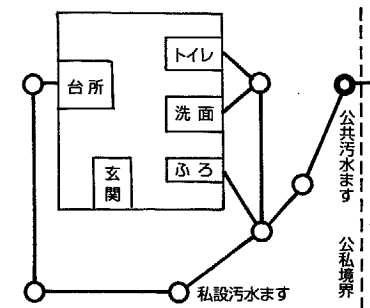
- すぐにお届けください
    - ①新しく家を建てられるとき
    - ②引越していかれるとき
    - ③長いあいた水道をお使いにならないとき
    - ④使用者または所有者の名義が変わるとき
    - ⑤水道メーターの口径が変わるとき
    - ⑥そのほか異変があるとき
  - ご相談下さい  
領収書に書いてある番号(お客さま番号)をお知らせください。
    - ①使用水量に関すること
    - ②水道料金に関すること
    - ③給水装置の工事に関すること
    - ④水道の故障や修理に関すること
    - ⑤水道工事店に関すること
    - ⑥水道に関すること
    - ⑦道路上などの水もれに関すること
    - ⑧いろいろなお届けに関すること
- 〈企業課 ☎82-3150までお問い合わせ下さい〉

●犬は出入口や水道メーターから離れた場所につないでおいしてください。



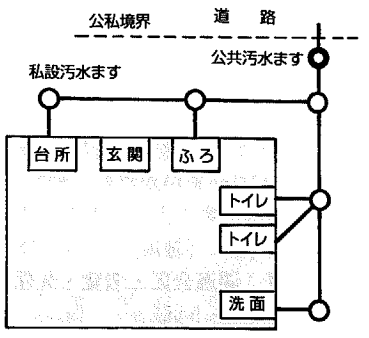
**工事費はどれくらい?**  
工事費は、工事場所の状況や配管の距離などによって、各家庭ごとにずいぶん差があります。  
この接続工事を排水設備工事といい、これに要する費用は個人で負担することになります。

公共下水道シリーズ④(広報いわむろ1月号)でお知らせしたように、下水道を利用するためには、家のそばの道路に埋設されている下水道管に、各家庭から出される生活雑排水や尿を流すための排水管を接続する工事が必要となります。(雨水は、この管に流しません。側溝などに流していただきます)



さらに、新築する場合に施工するのと既存の建物に施工するのでは、大幅に工事費に差がでます。ここでは、他の市町村の事例を2つのケースで紹介いたします。これはあくまで参考例ですので、実状はそれぞれの工事内容で異なります。

**ケース1**  
既存の建物に排水設備をする場合  
【排水設備工事の内容】  
①和風大小兼用便器使用  
②敷地が横に長い  
③台所とトイレが建物の両端に位置  
【排水設備工事の内容】  
①配水管布設工事 6ヶ  
②私設汚水ます設置工事 6個  
③水洗便器設置工事 1個  
④その他工事(便槽撤去工事・大工事など) 1式  
【工事費】  
約70万円(標準単価による)



**ケース2**  
新築の建物に排水設備をする場合  
【排水設備工事の内容】  
①洋風便器と小便器を使用  
②排水管は2系列  
【排水設備工事の内容】  
①排水管布設工事 20ヶ  
②私設汚水ます設置工事 5個  
③水洗便器設置工事(洋風便器と小便器) 各1個  
④その他工事(掃除口設置工事など) 1式  
【工事費】  
約55万円(標準単価による)

このように、排水設備には、多額の費用がかかります。現在供用を行っている市町村では、この工事のための積立金制度を設けているところが多くあり、岩室村でも今後検討していきたいと思っております。